

講義・演習概要（シラバス）

第 1 部課程第 1 2 2 期（平成 26 年 4 月 8 日～平成 26 年 9 月 5 日）

課 目 名	農業政策論
時 限 数	3 時限
担 当 講 師	名古屋大学教授 生源寺眞一 ＜プロフィール＞ 昭和 5 1 年 3 月 東京大学農学部農業経済学科卒業 昭和 5 1 年 4 月 農林省農事試験場農業経営部研究員 昭和 5 6 年 8 月 北海道農業試験場農業経営部研究員 昭和 6 2 年 7 月 東京大学農学部助教授 平成 8 年 6 月 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 平成 1 9 年 4 月 東京大学大学院農学生命科学研究科研究科長 平成 2 3 年 4 月 名古屋大学大学院生命農学研究科教授
ね ら い	過去 20 年ほどの農政の流れを振り返り、食料政策・農業政策・農村政策のポイントを理解するとともに、政策に対する冷静な評価と対応の視点を養う。政策をめぐる国際環境の変化をトレースし、条件不利地域政策などについては、EU との比較を行うことで理解を深める。
講 義 概 要	【1 限】 1992 年の「新政策」以降の農政の流れを整理する。取り上げる政策ジャンルのおもなものは、食料自給率目標、コメ政策（生産調整を含む）、農業構造政策、価格・所得政策、農業・農村整備などである。 【2 限】 ガットウルグアイラウンドの背景と帰結を学び、WTO 農業協定の意味を理解する。国際化とグローバル化の違いなど、現代の農政をめぐるホットな話題にも言及する。 【3 限】 1992 年のマクシャリー改革以降を中心に、EU の共通農業政策の流れについて整理するとともに、直接支払政策、条件不利地域政策、環境政策など、日本の農政の参考になる要素について学ぶ。
受講上の注意	特になし
使 用 教 材	生源寺眞一『日本農業の真実』筑摩書房、2 0 1 1 年。
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし